

提 案 概 要

実施期日	7月29日(火)【午後】
部 会 名	小学校 総則部会

1 提案テーマ 『伝えあおう 心を!』 ～ 聞く・話す活動に焦点をあてて ～

2 平成25・26年度神奈川県小学校教育課程研究会研究主題とのかかわり

② 個に応じた指導の一層の充実等、確かな学力の育成を図る教育課程の編成の工夫・改善

3 学習指導要領との関連(内容項目)

第1章 総則 第1 教育課程編成の一般方針

1 学校の教育活動を進めるに当たっては、各学校において、児童に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開する中で、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力その他の能力をはぐくむとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かす教育の充実に努めなければならない。その際、童の発達の段階を考慮して、児童の言語活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、児童の学習習慣が確立するよう配慮しなければならない。

4 実践に向けての課題意識

本校の教育目標は、「よく考え、進んで学ぶ子」「思いやりを持ち、協力し合う子」「自分を大切にする子(自・他を尊重する)」であり、まためざす学校像として「すべての子どもが満足感・充実感・所属感のもてる学校、協力・連携・共感で創る学校」を掲げ、日々教育活動に取り組んでいる。学習指導要領では、『言語活動の充実』を通して「思考力・判断力・表現力」をはぐくむことが求められている。そこで、本校の児童に『言語活動の充実』を図っていく上で課題となることについて全職員で協議した。そして「めざす子どもの姿」を「◇他者の思いや考えを整理して受け止め、互いに理解しあう子 ◇自分の思いや考えを整理し、互いに伝えあう子」とし、その姿を実現するため、授業実践研究を進めていくこととした。

5 実践の概要

「めざす子どもの姿」の実現に向けて、二つの柱を立てて研究を進めた。一つ目は、「聞く力」をはぐくむための帯単元の設定。二つ目は、「聞く力」・「話す力」をはぐくむ授業実践研究を進めてきた。また、三年間の授業研究で培った力が各教科・学校行事等を通じて生きる力をはぐくみ、実生活につなげることを目標に取り組んだ。

6 成果と課題

- 成果 ○「『聞く力』をはぐくむ帯単元」の実践を通して、他者の思いや考えを整理して受け止め、互いに理解しあおうとする力が身に付いてきた。
- 「『聞く力』『話す力』をはぐくむ授業の研究」の実践を通して、自分の思いや考えを整理し、互いに伝えあおうとする意識の向上が見られた。
- 指定研究推進委員会を中心に計画的に研究を進め、全職員が研究授業を行い研究協議を重ねることによって、学校全体で研究に取り組み、授業改善が図られた。
- 課題 ○「めざす子どもの姿」の一層の実現に向けて、すべての教育活動で言語活動の充実を図っていく必要がある。

7 予想される協議の柱

- ・言語活動を充実させる年間を見通した取組について